



# 平和月間 平和集会

6月16日(火)の1校時、道徳の時間に、平和学習の取り組みの一貫<sup>いつかん</sup>として、全学級で授業を実施しました。ねらいは、「戦争と平和に関心を持ち、世界の平和について考える態度を養うこと」「かけがえのない命を大切にする態度を育てること」です。慰霊の日を前に、本校の読み聞かせボランティア「すみれの会」の〇〇〇〇さんに講話をしていただき、その後、絵本『ずるせん』を朗読したDVDを視聴<sup>しちよう</sup>しました。宮良さんからは、「平和とは何でしょうか。平和とは、私たち一人一人の思いによってつくられるものです。」とのお話があり、「皆さんのクラスは平和ですか。学校は平和ですか。家庭ではどのような平和を築いていますか。」と問いかけられました。また、「戦争を起こすのは確



かに人間です。しかし、それ以上に戦争を許さないための努力ができるのも私たち人間ではないでしょうか。」と話を結ばれました。これらのお話を通して、生徒たちは戦争の悲劇<sup>ひげき</sup>と、平和や希望の大切さについて考える機会となりました。どのクラスも真剣<sup>しんけん</sup>に動画を視聴し、絵本『ずるせん』から感じたことや、平和な世界をつくるために何が必要かについて一人一人が考え、ワークシートに記入していました。今年もまた、6月23日「慰霊の日」を迎えました。戦後81年がたちましたが、現在の世界は本当に平和と言えるのでしょうか。今一度、平和とは何かを見つめ直し、その実現のために自分たちは何をすべきか、自分自身のこととして、また社会の一員としてどうあるべきかをしっかりと考え、行動できるようにしたいものです。

# 未来創造

那覇市立  
仲井真中学校  
学校便り  
第10号  
校長：山田泰之



## <平和集会ワークシートより>

- ◎平和な世界を作るには、どのような気持ちや考えが大切でしょうか。
- 平和な世界を作るために、私は相手を思いやる気持ちを忘れず、一人一人がもっている人権の尊重と互いに誉め称えたり助け合っていることが大切だと考えました。今よりも平和な社会を実現するために、今自分たちが取り組めることは何かを考えることができました。(3年女子)
- 大人がすぐキレたりして、戦争をすぐ起こすことをやめたら平和な世界になる。(3年男子)

## 平和月間 資料・パネル展



今月、図書室では平和月間にあわせて、図書室の一角<sup>いっかく</sup>に沖縄戦<sup>しよせき</sup>についてのパネルや写真、書籍、新聞<sup>しんぶん</sup>などをまとめて展示しています。これにより、過去の歴史や戦後81年経った現在も残る問題について、すぐに学べるようになっていきます。この機会に、改めて沖縄戦について学び、なぜこの戦争が起きたのかを様々な資料を通じて考えてみませんか。また、多くの資料にある様々な視点から、住みよい社会や人権が保障された社会を築くために何ができるのかを考えてみましょう。

### 【紹介】<司書の個人的オススメ本>展示されている書籍 「カラー化写真で見る沖縄」

戦前(近代)・戦中・そして戦後。写真に記録された激動の沖縄史が、カラー化によって鮮やかによみがえる。戦後80年目の節目に発行された本書は、新規追加分を含む120枚のカラー化写真を戦前(近代)・戦中・戦後に分けて収録。